



かるかる

2013年 **9** 月 vol.216

北九州出身
北条司 & COMIC ZENON 展

平成25年7月20日(土)～9月23日(月・祝)
北九州市漫画ミュージアム企画展示室 [あるある City5 階]

開館時間 / 11:00～19:00 [入館は閉館の30分前まで]
休館日 / 火曜日 [7月20日(土)～9月1日(日)は11:00～20:00 無休で開館]

主催 / 北九州市漫画ミュージアム 特別協力 / コミックゼノン編集部 コアミックス ノース・スターズ・ピクチャーズ

入館料	一般	中学生	小学生
企画展	600円(480円)	300円(240円)	150円(120円)
常設展	400円(320円)	200円(160円)	100円(80円)
セット券	800円(640円)	400円(320円)	200円(160円)

※()は30名以上の団体料金(往一人様料金です。)

北九州市 KITAKYUSHU MANGA MUSEUM
北九州漫画ミュージアム
〒802-0001 北九州市小倉北区浅野2-14-5 があるあるCity5階 6階
TEL:093-512-5077 http://www.kitqm.jp

◆展示概要

1. 北条司の世界
2. 『月刊コミックゼノン』の挑戦
3. コミックゼノン連載作家コーナー
4. これからのコミックゼノン
5. プロジェクションマッピング
6. 記念撮影コーナー
7. AR技術を使ってキャラクターと記念撮影

平成25年7月20日(土)～平成25年9月23日(月・祝)

会場：北九州市漫画ミュージアム 企画展示室

(小倉北区浅野 2-14-5 あるある City5 階)

【開館時間】 午前11時～午後7時(入館は閉館の30分前まで)

【休館日】 火曜日(休日の場合はその翌日)

(ただし、7/20～9/1は午後8時閉館、無休で開館)

【入場料】

- ・一般 : 600円(480円)
- ・中高生 : 300円(240円)
- ・小学生 : 150円(120円)
- ・小学生未満: 無料

※()は団体30名以上の場合のお一人様料金

【主催】 北九州市漫画ミュージアム 【特別協力】 コミックゼノン編集部 コアミックス ノース・スターズ・ピクチャーズ

お問合せ先: 〒802-0001 北九州市小倉北区浅野二丁目14-5 あるあるCity5階・6階

北九州市漫画ミュージアム TEL:093-512-5077

北九州芸術劇場



●住所/小倉北区室町1-1-11 リバーウォーク北九州6F ●電話/093-562-2655 ●休館日/年末年始
●アクセス/JR:「西小倉駅」徒歩3分 バス:「室町・リバーウォーク」徒歩1分 ●開館時間/公演によって異なります

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	Peek-a-Boo 2013 Dance Collection	8(日)	14:00	一般 ¥2,500 (当日¥500増)	Peek-a-Boo 093-522-0703
	ファミリーフェスティバルin北九州	23(月・祝)	18:00	一般 ¥1,000	A.P.T.F 北福岡 093-645-2386
	九州交響楽団 第55回北九州定期演奏会	28(土)	17:00	一般 ¥3,500 会員割引 ¥2,500 学生(小~大学生) ¥1,500	九響チケットサービス 092-823-0101
	第39回 小倉南文化祭 日本舞踊合同大会	29(日)	12:30	一般 ¥2,000	小倉南日本舞踊協会 093-961-0050
中劇場	劇団はぐるま座 『動けば雷電の如く』 北九州公演	8(日)	13:30	一般 ¥2,500 大学生 ¥1,500 高・中学生 ¥1,000 (当日各¥500増) 小学生 ¥500 (当日¥300増)	劇団はぐるま座 083-254-0516
	北九州市民劇場9月例会 青年劇場 「普天間」	13(金)	18:30	会 員 ※市民劇場会員でない方は お問合わせ下さい。	北九州市民劇場 093-541-0075
		14(土)	13:30		
		15(日)	13:30		
		16(月・祝)	13:30		
		17(火)	13:30		
		17(火)	18:30		
		19(木)	13:30		
	20(金)	12:00			
	Kony Ailana 2013	22(日)	13:00	一般 ¥3,500 (当日¥500増)	ピリアロハフラスタジオ 093-521-7260
北九州子ども劇場9月高学年部例会 「しのだづま」(人形劇団クラルテ)	23(月・祝)	15:00 19:00	会 費 ※子ども劇場会員でない方は お問合わせ下さい。	北九州子ども劇場 093-884-3834	
北九州子ども劇場9月低学年部例会 「ぼくのなかのぼく」(劇団風の子)	27(金)	18:30	会 費 ※子ども劇場会員でない方は お問合わせ下さい。	北九州子ども劇場 093-884-3834	
春風亭小朝 独演会	29(日)	14:00 17:00	一般 ¥4,000 (当日¥500増)	シアターネットプロジェクト 092-739-2318	
小劇場	リトミック・ピアノ発表会	7(土)	13:30	無 料	菊池 昌子 093-964-4361
	北九州子ども劇場9月幼児例会 「歌子さんの初めてのコンサート」(リーフ企画)	14(土)	11:10 13:30	会 費 ※子ども劇場会員でない方は お問合わせ下さい。	北九州子ども劇場 093-884-3834
	ダンスダイブウィーク 「ショーケース」 ダンスって何?の疑問に答えるべく、様々なダンスを取り揃えました	22(日)	14:00	一般 ¥2,000 ユース ¥1,000 (当日各 ¥500増) 2回セット券 (各20セット限定 劇場・前売のみ取扱) 一般 ¥3,000 ユース ¥1,500 ※ユースは24歳以下・ 要身分証提示・枚数限定・ 劇場のみ取扱	北九州芸術劇場 093-562-2655
		23(月・祝)	14:00		
	ダンスダイブウィーク イデビアン・クルー「麻痺 引き出し 嫉妬」 現代のダンスシーンの中でも異才を放つ井手茂太・主宰の新作公演	28(土)	19:00	一般 ¥3,500 ユース ¥2,500 ※ユースは24歳以下・ 要身分証提示・枚数限定・ 劇場のみ取扱 (当日各 ¥500増)	北九州芸術劇場 093-562-2655
	29(日)	13:00			

北九州芸術劇場
市民ギャラリー



●住所/小倉北区室町1-1-11 リバーウォーク北九州5F ●電話/093-562-2520
●開館時間/10:00~19:00 ※催し初日は準備が終わり次第開場、最終日は17:00まで
●アクセス/JR:「小倉駅」徒歩10分、「西小倉駅」徒歩3分 ●休館日/年末年始

イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
北九州市立大学・九州工業大学 合同写真展 写真	4(水)~10(火)	無 料	北九州市立大学写真部
画秋到来 AS Exhibition 2013 絵画(漫画・イラスト)	11(水)~17(火)	無 料	アズ漫画研究会 093-602-9648
秋琴会書道展 書道	18(水)~24(火)	無 料 ※10:00~18:00	書道研究秋琴会 093-691-1226
第64回(平成25年度)小倉北区民美術展会員・会友展 絵画・書道・写真・彫刻・その他	9/26(木)~10/1(火)	無 料	小倉北区役所コミュニティ支援課 093-582-3322

北九州市立響ホール

●住所/八幡東区平野1-1-1 ●電話/093-662-4010 ●駐車場/240台(有料) ●休館日/年末年始
●アクセス/JR:「八幡駅」徒歩15分 バス:「八幡駅入口第一」徒歩10分、「国際文化交流センター」徒歩2分

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
響ホール20thシリーズ プラス・ヘキサゴン 辻本憲一、長谷川智之、森博文、箱山芳樹、外園祥一郎、池田幸広	8(日)	15:00	指定席 ¥3,500 一般自由席 ¥3,000 U-25自由席 ¥2,000 ※1987年以降生まれ全対象 (当日各¥500増)	(公財)北九州市芸術文化振興財団 音楽事業課 093-663-6661
第67回全日本学生音楽コンクール北九州大会(予選) ピアノ部門 14日(土)高校の部、15日(日)小学校の部、16日(月・祝)中学校の部	14(土)	10:30	一般 ¥1,500	毎日新聞社西部本社事業部 093-511-1119
	15(日)	10:30		
	16(月・祝)	10:30		
第67回全日本学生音楽コンクール北九州大会(予選) フルート部門、声楽部門	21(土)	フルート部門 10:00 声楽部門 14:30	一般 ¥1,500	毎日新聞社西部本社事業部 093-511-1119
第67回全日本学生音楽コンクール北九州大会(予選) バイオリン部門	22(日)	10:30	一般 ¥1,500	毎日新聞社西部本社事業部 093-511-1119
24th 北九州音楽協会会員による CONCERT 響 2013 北九州市制50周年を祝して 岩崎雅子、森山仁美、関原弘二、内野京子、室北昌子 ほか	23(月・祝)	15:30	一般 ¥2,000 学生(小~大学生) ¥1,000 (当日各¥500増)	北九州音楽協会 093-871-2220(宮武)
第1回北九州バロック・アンサンブル・セミナー ①BAROQUE 競奏の華 CONCERTO 大パレード!!!!!! ②ファイナル・コンサート~百花繚乱! 弦楽器たちの饗宴~	①26(木)	19:00	BAROQUE ¥2,500	北九州バロック・アンサンブル協会事務局 090-9960-6120(上野)
	②27(金)	19:00	ファイナルコンサート ¥1,500	
2013 浦野さやかファゴットコンサート "調和~ハーモニー" 浦野さやか、幸田裕子、田里友邦、柳清本流柳美会	29(日)	15:00	一般 ¥2,000 学生(中~大学生) ¥1,000 (当日各¥500増) *小学生以下無料	ハイマートシュタット 093-883-1548(浦野)

出光美術館(門司)

●住所/門司区東港町2-3 ●電話/093-332-0251 ●開館時間/10:00~17:00(入館は閉館30分前まで)
●アクセス/JR:「門司港駅」徒歩8分 車:「門司IC」約10分 ●休館日/月曜日(展示替期間、年末年始)

イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
勝川春章の美人画-北斎を生んだ浮世絵師 典雅な美人画を描いた春章の優品や、その師匠・北斎の作品を展示。	9/6(金)~10/27(日)	一般 ¥600 高校・大学生 ¥400 中学生以下無料(保護者同伴)	出光美術館(門司) 093-332-0251

関門海峡ミュージアム(海峡ドラマシップ)

●住所/門司区西海岸1-3-3 ●電話/093-331-6700 ●休館日/年5回
●アクセス/JR:「門司港駅」徒歩5分 ●開館時間/9:00~17:00

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
筑前琵琶「平家物語」演奏会	1(日)	11:00 13:00	無料	関門海峡ミュージアム (海峡ドラマシップ) 093-331-6700

旧門司税関

●住所/門司区東港町1-24 ●電話/093-321-4151 ●休館日/なし
●アクセス/JR:「門司港駅」徒歩3分 ●開館時間/9:00~17:00

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
1・2階	門司文化祭・門司区民美術展	5(木)~11(水) ※最終日は16:00まで	無料	門司港レトロ 総合インフォメーション 093-321-4151
	“生誕80年”-初期から絶作まで- 「池田満寿夫の世界」	14(土)~29(日)	一般 ¥300 小中学生 ¥100	

門司港レトロ展望室

●住所/門司区東港町1-32 ●電話/093-321-4151 ●休館日/なし
●アクセス/JR:「門司港駅」徒歩5分 ●開館時間/10:00~22:00(カフェは21:00まで)

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
天空ジャズ(近藤タケユキデュオ)	7(土)	18:30	門司港レトロ展望室入館料金必要 大人 ¥300 小人 ¥150	B&A 門司港 093-321-4151

門司市民会館

●住所/門司区老松町3-2 ●電話/093-321-2907 ●休館日/年末年始 ●開館時間/9:00~22:00
●アクセス/JR:「門司港駅」徒歩13分 バス:「関門トンネル車道口」徒歩2分、「レトロ東本町1丁目」徒歩3分

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
ホール	金木星カラオケ発表会 カラオケ発表会	29(日)	9:30	無料	NKR 金木星 093-331-7770

ジャンルごとに色分けして表記しています。

演劇・舞踊 音楽 美術・展示 etc. 映像・その他催し

※催しは内容など変更になる場合がございますので
必ず各問合せ先又は各施設にお問い合わせ下さい。

アルモニーサンク 北九州ソレイユホール
(旧九州厚生年金会館)



●住所/小倉北区大手町12-3 ●電話/093-592-5405 ●休館日/年末年始・毎月1回(不定休) ●開演時間/公演によって異なります
●アクセス/JR:「小倉駅」徒歩30分、「西小倉駅」徒歩15分 バス:「ソレイユホール・ムーブ前」徒歩1分 ●駐車場/80台(有料)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	北九州市ジュニアオーケストラ 第31回定期演奏会	1(日)	15:00	一般自由席 ¥800 (当日¥200増)	北九州市ジュニアオーケストラ 093-583-5282
	劇団四季60周年記念 SONG&DANCE60 感謝の花束 「キャッツ」・「ライオンキング」・「オペラ座の怪人」・「美女と野獣」etc	5(木)	18:30	S席 ¥8,000 A席 ¥6,000 B席 ¥3,000	劇団四季 全国公演本部 0120-660-442
	真弓バレエスクール リサイタル 第1部バレエコンサート 第2部「くるみ割り人形」よりお菓子の国	8(日)	14:30	¥3,000 全席自由	真弓バレエスクール 093-881-6569
	豪華 歌の共演 前川清・神野美伽・石原詢子	11(水)	13:00	S席 ¥6,800	ソワード(株) 0956-22-2036
	北九州市民文化大学 文化講演会 講師:「藤木勇人」氏	14(土)	13:00	関係者 (随時募集)	北九州市民文化大学 093-522-5008
	松竹大歌舞伎 中村吉右衛門・中村又五郎・中村歌昇・中村芝雀ほか	19(木)	12:00 17:00	S席 ¥10,000 A席 ¥7,000	榊井筒屋 093-522-3111
	カリブ海ミュージッククルーズ キューバ情熱音楽 セサル・ロペス&ハバナ・アンサンブル	25(水)	19:00	A席 ¥5,500 B席 ¥5,000	MIN-ON北九州 093-884-1833

北九州市漫画ミュージアム



●住所/小倉北区浅野2-14-5(あるあるCity5階6階) ●開館時間/11:00~19:00(7月20日~9月1日は20:00まで)入館は閉館30分前まで
●電話/093-512-5077 ●アクセス/JR:「小倉駅」徒歩2分 ●休館日/火曜日(休日の場合は翌日)、年末年始、館内整理日、夏休み等は無休

イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
北条司&コミックゼノン展 北条司と月刊「コミックゼノン」の連載作家たちの展覧会	~9/23(月・祝)	一般 ¥600 中学生 ¥300 小学生 ¥150 小学生未満無料	北九州市漫画ミュージアム 093-512-5077

北九州市立小倉城庭園



●住所/小倉北区城内1-2 ●休館日/なし ●アクセス/JR:「小倉駅」徒歩約10分、「西小倉駅」徒歩約7分
●開館時間/9:00~18:00(11月~3月は17:00まで)受付は閉館30分前まで ●電話/093-582-2747

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
企画展示室	祇園祭と八坂神社 八坂神社の歴史とその意義を祇園祭の観点から紹介。	~9/16(月・祝)	小倉城庭園入館料 一般 ¥300 中学生 ¥150 小学生 ¥100	北九州市立小倉城庭園 093-582-2747
	第39回 小倉城扇子・短冊書道展 舞扇や短冊にしたための書作品約300点を展示。	21(土)~29(日)	小倉城庭園入館料 一般 ¥300 中学生 ¥150 小学生 ¥100	
書院棟	秋のJAZZナイト 夜の大名屋敷でJAZZを鑑賞。	14(土) 18:00	¥1,500 (呈茶付・入館料込) 先着80名 ※要申込	
和室・書院棟	開館15周年記念市民茶会 開館15周年を記念した恒例の秋の茶会です。	29(日) 9:00~14:00	¥2,500 (薄茶二席・点心付・入館料込) 先着50名 ※要申込	

北九州市立視聴覚センター



●住所/小倉北区城内4-1 ●電話/093-561-3131 ●休館日/毎週月曜日(月曜祝日、振替休日の場合は開館し翌日休館)
●アクセス/JR:「西小倉駅」徒歩10分 バス:「勝山公園」徒歩1分、「北九州市役所」徒歩5分 ●開館時間/9:30~18:00

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
子ども映画会 「かくや姫」 アメリカーナアニメ「眠いウサギ狩り」「呪いの黒猫」ほか	8(日)	14:00	無料 (先着50名)	北九州市立視聴覚センター 093-561-3131
クラシック・レコード・コンサート ベートーヴェン作曲「ヴァイオリン協奏曲」ほか。楽曲解説あり。	15(日)	14:00	無料 (先着50名)	
週末映画会(洋画「キングソロモン」)	21(土)	14:00	無料 (先着50名)	
週末映画会(邦画「天狗飛脚」)	28(土)	14:00	無料 (先着50名)	

北九州市立男女共同参画センター・ムーブ



●住所/小倉北区大手町11-4 ●電話/093-583-3939 ●休館日/所内整理日(毎月最終木曜日及び年4回の第2木曜日)、年末年始
●アクセス/JR:「西小倉駅」徒歩15分 バス:「ソレイユホール・ムーブ前」徒歩1分 ●駐車場/有り(有料) ●開館時間/9:30~21:30

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
ホール	ヤマハ ピアノ・エレクトーン発表会 ピアノ・エレクトーン個人発表会	1(日)	10:30	無料	榊ヤマハミュージックリテイリング 小倉店 093-531-4342
	ピアノ発表会 ピアノ発表会(幼児から中学生までのピアノ発表会)	23(月・祝)	14:00	無料	クラヴィーア・ヴォルケ 090-9720-0844(原田)

北九州市立美術館分館



●住所/小倉北区室町1-1-1 リバーウォーク北九州5F ●電話/093-562-3215 ●開館時間/10:00~20:00(入館は閉館30分前まで)
●アクセス/JR:「西小倉駅」徒歩5分、「小倉駅」徒歩10分 バス:「室町・リバーウォーク前」下車 ●休館日/会期中無休

イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
生誕130年 憧れの欧米への旅 竹久夢二展 日本画及び油絵140点	~9/1(日)	一般 ¥1,000 高大生 ¥600 小中生 ¥400	北九州市立美術館分館 093-562-3215

北九州市立文学館



●住所/小倉北区内4-1 ●電話/093-571-1505 ●開館時間/9:30~19:00(土日は18:00まで) 入館は閉館30分前まで
●アクセス/JR:「小倉駅」徒歩15分、「西小倉駅」徒歩10分 バス:「北九州市役所前」徒歩2分 ●休館日/月曜休館(月曜日が祝・休日の場合は翌日)、年末年始

イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
忘れてはイケナイ物語り 北九州篇 戦争童話集原画展一作・野坂昭如 絵・黒田征太郎— 『戦争童話集』で黒田征太郎さんが描いた原画約250点を展示。	~9/8(日)	一般 ¥200 中高生 ¥100 小学生 ¥50	北九州市立文学館 093-571-1505

北九州市立松本清張記念館



●住所/小倉北区内2-3 ●電話/093-582-2761 ●開館時間/9:30~18:00(入館は閉館30分前まで)
●アクセス/JR:「西小倉駅」徒歩5分 バス:「小倉城・松本清張記念館前」徒歩1分 ●休館日/なし

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
企画展示室	北九州市制50周年記念特別企画展 「松本清張と邪馬台国」	~11/4(月・祝)	常設展示観覧料を含む 大人 ¥500 中高生 ¥300 小学生 ¥200	松本清張記念館 093-582-2761

小倉井筒屋



●住所/小倉北区船場町1-1 ●電話/093-522-3111(代) ●定休日/不定
●アクセス/JR:「小倉駅」徒歩7分 ●展示時間/10:00~19:00※各最終日は16:00に閉場

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
大画廊・小画廊	~現代伊万里の昇華 純プラチナ彩~ 山本一洋作陶展 独自の技法で開発した「純プラチナ彩」作品を紹介。	4(水)~10(火)	無料	小倉井筒屋 大画廊 093-522-2521
大画廊	秋焼 大和努作陶展	11(水)~17(火)	無料	
	日展評議員就任記念 武腰一憲作陶展 シルクロードの世界を九谷焼で表現した作品を紹介。	18(水)~24(火)	無料	
小画廊	世界の秘境を往く 中村勝人絵画展 シルクロードの風景と、そこで暮らす人々の生活を描いた作品を紹介。	9/25(水)~10/1(火)	無料	小倉井筒屋 小画廊 093-522-2521
	小宮絵莉・小柳景義二人展 東京藝術大学大学院・中島千波教室出身の二人による作品展。	11(水)~17(火)	無料	
	星野聖 陶展 大壺、酒器、食器など備前焼約100点を展示。	18(水)~24(火)	無料	
	フジタとパリの日本人画家達展 藤田嗣治と共にパリで活躍した日本人画家たちの作品を紹介。	9/25(水)~10/1(火)	無料	

小倉城



●住所/小倉北区内2-1 ●開館時間/4月~10月 9:00~18:00 11月~3月 9:00~17:00(入館は閉館30分前まで)
●アクセス/JR:「小倉駅」徒歩20分、「西小倉駅」徒歩10分 都市高速:大手町ランプより車で5分 ●電話/093-561-1210

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
4階市民の大広間	北九州遺跡パネル展 城下町小倉に点在する江戸時代の土木遺産をパネルにて紹介 20枚	~9/30(月)	大人 ¥350 中高 ¥200 小学生 ¥100	小倉城 093-561-1210

水環境館



●住所/小倉北区船場町1-2 ●電話/093-551-3011 ●開館時間/10:00~20:00 ●休館日/年末年始
●アクセス/JR:「小倉駅」徒歩10分、「西小倉駅」徒歩10分 バス:「勝山橋」徒歩1分、「魚町」徒歩3分

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
多目的ホール	水曜コンサート「シャンソンとピアノの奏べ」 歌:酒井京子 ピアノ:湯田美津子	4(水)	14:00	無料	水環境館 093-551-3011
	水曜コンサート「バイオリンとピアノの奏べ」 バイオリン:加来洋子 ピアノ:湯田美津子	18(水)	14:00	無料	

小倉南生涯学習センター



●住所/小倉南区若園5-1-5 ●電話/093-931-1286 ●休館日/毎週月曜(月曜祝日、振替休日の場合は開館し、翌日休館)、年末年始
●アクセス/バス:「小倉南区役所」徒歩1分、「企教中学校前」徒歩2分 モノレール:「北方駅」徒歩12分 ●開館時間/9:00~22:00

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	吟詠コンクール大会	8(日)	9:30	無料	北九州吟剣詩舞道響会事務局 090-8392-4995(帆足)
展示コーナー	第40回小倉南区年長者・障害者(児)作品展	3(火)~7(土) 9:00~17:00 ※3(火)は14:00から 7(土)は12:00まで		無料	北九州市小倉南区社会福祉協議会 093-951-5388
	北九州市市制50周年記念 第39回(平成25年度)小倉南区文化祭小倉南美術協会展 日本画(水墨画を含む)洋画・書・写真・工芸	22(日)~29(日) 9:00~17:00 ※29(日)は15:00まで		無料	小倉南美術協会事務局 093-662-6051

若松市民会館



●住所/若松区本町3-13-1 ●電話/093-771-8131 ●駐車場/110台(共用) ●開館時間/9:00~22:00
●アクセス/JR:「若松駅」徒歩1分 バス:「大橋通り」「若松駅」「若松市民会館前」徒歩2分 ●休館日/年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	澤田理絵 ソプラノコンサート	7(土)	19:00	¥2,000	心に残る唄事務局 093-771-7104
	うたごえ交流会 合唱発表	8(日)	13:00	¥1,000	山本猛雄 093-603-4070

ジャンルごとに色分けして表記しています。

演劇・舞踊 音楽 美術・展示 etc. 映像・その他催し

※催しは内容など変更になる場合がございますので
必ず各問合せ先又は各施設にお問い合わせ下さい。

北九州イノベーションギャラリー(産業技術保存継承センター)

●住所/八幡東区東田2-2-11 ●電話/093-663-5411 ●休館日/毎週月曜※月曜が祝日の場合は翌日 年末年始 ●駐車場/市営駐車場(いのちのたび博物館横) 大型30台、普通300台(有料)
●アクセス/JR:「スペースワールド駅」徒歩5分 バス:「いのちのたび博物館」徒歩3分 ●開館時間/平日9:00~19:00※土日祝日9:00~17:00まで(展示室入室は閉館30分前まで)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
企画展示室	企画展「船のなるほど展」 船のしくみや構造、深海で活躍する船などを紹介します。	~9月23日(月・祝)		一般 ¥500 小~高校生 ¥100	北九州イノベーションギャラリー 093-663-5411

北九州市立旧百三十銀行ギャラリー

●住所/八幡東区西本町1-20-2 ●電話/093-661-9130 ●開館時間/10:00
●アクセス/JR:「八幡駅」徒歩5分 西鉄バス:系統番号1、系統番号22 ●休館日/なし

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
ギャラリー	あたたかい宇宙 演劇	21(土) 22(日)	15:00 11:00 14:00	¥500	旧百三十銀行ギャラリー 093-661-9130

北九州市立いのちのたび博物館(自然史・歴史博物館)

●住所/八幡東区東田2-4-1 ●電話/093-681-1011 ●休館日/年末年始 ●開館時間/9:00~17:00(入館は閉館30分前まで)
●アクセス/JR:「スペースワールド駅」徒歩5分、バス:「いのちのたび博物館」徒歩1分 ●駐車場/市営駐車場(いのちのたび博物館横) 大型30台、普通300台(有料)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
	秋の特別展 「邪馬台国が見える! 日本古代の原風景」 弥生時代以降古代国家成立までの過程を、九州とヤマトの遺跡を対比し、その実態を検証します。	9/14(土)~ 11/4(月・祝)	9:00	大人 ¥700 高・大生 ¥400 小・中生 ¥300 ※常設展は別途料金が必要 ※常設展とのセット券あり	いのちのたび博物館 093-681-1011
	秋の特別展関連イベント 記念講演会 「考古学からみた戦国秦漢時代と弥生時代の文化」 講師:中国社会科学院考古研究所 副所長 白雲翔氏	14(土)	13:30	無料	
	秋の特別展関連イベント 「火おこし体験」 古代の火おこし体験です。	21(土)	11:00 14:00	無料 ※要特別展入場料	

北九州市立児童文化科学館

●住所/八幡東区桃園3-1-5 ●電話/093-671-4566 ●開館時間/9:00~17:00(入館は閉館30分前まで)
●アクセス/バス:「市立児童文化科学館前」徒歩5分 ●休館日/毎週月曜日(祝日の場合は開館し翌日休館)・年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
科学館前 広場別館	第35回わくわくサイエンスキッズ2013 身近な科学やものづくりの楽しさを体験	15(日)	10:00	無料	児童文化科学館 093-671-4566
大集会場	サイエンスショー 「ドライアイスで科学実験」	16(月・祝)	14:30	無料	
	テルミンコンサート 直接手を触れずに音を奏でる電子楽器テルミン。出演:ミルキーウェイさん	22(日)	14:30	無料	
プラネタリウム 屋上	星の観望の夕べ プラネタリウム観覧後、月と秋の星空を望遠鏡で観察します。	28(土)	19:00	大人 ¥100 中高生 ¥70 小学生 ¥50 ※小学生以下は保護者同伴 14(土)から電話受付	

八幡市民会館

●住所/八幡東区尾倉2-6-5 ●電話/093-671-6061 ●休館日/年末年始 ●開館時間/9:00~22:00
●アクセス/JR:「八幡駅」徒歩7分 バス:「八幡駅入口第一」徒歩5分 ●駐車場/110台(共用)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
美術展示室	第20回 北美会展 油絵・水彩 約30点	16(月・祝)~21(土)	10:00~17:00 ※21(土)は16:00まで	無料	北美会 093-601-5550(古木)
	東光会福岡支部 支部展・公募展 油絵・水彩 約60点	23(月・祝)~29(日)	10:00~18:00 ※29(日)は17:00まで	無料	東光会福岡支部 093-951-9980(佐藤)

北九州市立子どもの館

●住所/八幡西区黒崎3-15-3 コムシティア7階 ●電話/093-642-5555 ●開館時間/10:00~19:00
●アクセス/JR:「黒崎駅」徒歩1分 バス:「黒崎バスセンター」徒歩1分 ●休館日/9/2日(月)・4日(水)・18日(水)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
子ども ホール	わらべの日&救急の日 子ども救命救急教室 北九州市消防音楽隊の演奏・演技や子ども向けの救命救急教室	8(日)	13:00~ 15:00	無料	北九州市立子どもの館 093-642-5555

北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館

●住所/八幡西区木屋瀬3-16-26 ●開館時間/9:00~17:30 ●休館日/毎週月曜日(祝日の場合は開館し翌日休館)・年末年始 ●電話/093-619-1149
●アクセス/車:九州自動車道 八幡IC、北九州都市高速 馬場山ランプから車で約10分 JR:「筑前植木駅」徒歩約15分 筑豊電鉄:「木屋瀬駅」徒歩約5分

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
こやのせ座	ライブシアター2013 白象くんがやって来た 読み聞かせと人形劇	1(日)	11:30 14:30	¥1,000 (当日¥300増)	白象くんがやってきた実行委員会 090-1193-8461(木戸)
	ピアノ発表会	8(日)	14:00	無料	関本こころ 093-618-6163
	落語まつり	28(土)	14:30	¥1,000	江崎弘子 090-8669-3436

黒崎井筒屋

●住所/八幡西区黒崎1-1-1 ●電話/093-643-5111(代) ●定休日/不定
●アクセス/JR:「黒崎駅」徒歩1分 ●展示時間/10:00~19:00※各最終日は17:00に閉場

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
	熔壊ガラス二代目継承20周年記念 江口智子作品展 ガラス、ぐい呑み、花器など約70点を紹介。	3(火)~8(日)		無料	093-643-5268
	大端溪硯展 「老抗水岩」「抗仔岩」の二大名抗の硯を中心に約200面を紹介。中国直輸入。	10(火)~15(日)		無料	

黒崎井筒屋

●住所/八幡西区黒崎1-1-1 ●電話/093-643-5111(代) ●定休日/不定
●アクセス/JR:「黒崎駅」徒歩1分 ●展示時間/10:00~19:00※各最終日は17:00に閉場

イベント	期間	入場料	問合せ先
中村経子/十月工房 草木染手織袖と切継の帯と布展 草木染による手織り和服の他、ショールや布小物など展示。	17(火)~22(日)	無料	093-643-5268
有田焼陶祖 14代李参平 作陶展 有田焼陶祖・李参平より14代目にあたる金ヶ江三兵衛氏による作品展。	24(火)~29(日)	無料	

黒崎びびしんホール(北九州市立黒崎文化ホール)

●住所/八幡西区岸の浦2-1-1 ●電話/093-621-4566 ●休館日/年末年始 ●開館時間/9:00~22:00
●アクセス/JR:「黒崎駅」徒歩5分 筑豊電鉄「黒崎駅」徒歩8分 西鉄・市営バス:「熊手四つ角」バス停より降りてすぐ 北九州都市高速黒崎ICから5分

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	河野鶴聲創作吟詠発表会 第二回 心のしらべ	8(日)	13:00	無料	鶴洲流鶴洲吟詠会総本部 093-612-7813(早淵)
	北九州市制50周年記念事業 黒崎大文化祭「黒フェス」特別企画 泉谷しげるライブ	15(日)	18:00	A席 ¥4,000 B席 ¥3,500 2階自由席 ¥3,000	(社)北九州青年経営者会議 093-863-0157
	平成25年 高文連北九州地区音楽会	21(土)	9:45	無料	福岡県立八幡高等学校 093-651-0035
	北九州子ども劇場9月小学1年生以上低学年部例会 「ぼくのなかのぼく」(劇団風の子)	26(木)	19:00	会員制 ¥1,300	北九州子ども劇場 093-884-3834
	第14回 高須中学校吹奏楽部定期演奏会	29(日)	14:00	無料	北九州市立高須中学校 093-741-2310(河野)
中ホール	青空ダンスパーティ	1(日)	13:00	¥999	青空ダンス 070-5814-1373(佐伯)
	池田慎司・富川勝智ギターデュオリサイタル	12(木)	19:00	¥2,500 (当日¥500増)	093-922-3857(池田)
	シャンソン コンサート	19(木)	14:30	無料	サロン・ドゥ北九州 090-6426-7849(山本)
	ひまわり社交ダンス ダンスパーティー	22(日)	13:00	¥990	ひまわり社交ダンス 080-3956-1096
	ヴァイオリン・ピアノ デュオコンサート	23(月・祝)	14:00	¥1,000	吉富淳子ピアノ教室 070-5277-3669
	桂春蝶独演会	28(土)	15:00	¥2,500 (当日¥500増)	桂春蝶を応援する友の会 093-619-1110

北九州市立美術館 黒崎市民ギャラリー

●住所/八幡西区黒崎三丁目15-3 コムシティ3階 ●電話/093-644-5206
●開館時間/9:00~19:00(入館は閉館30分前まで)

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
空の数え方 イラスト50点	2(月)~9(月)		無料	アトリエhico 090-4771-1750(西原)
西川幸夫スケッチ淡彩「四季彩」教室総合展~私たちの街101景 洋画 約100点	8(日)~14(土)		無料	西川幸夫スケッチ教室「四季彩」 090-1926-6738(大川)
きらく会第14回作品展 洋画ほか 約50点	10(火)~16(月・祝)		無料	絵画クラブきらく会 093-651-3987(土橋)
栄華支部書道展 書	15(日)~21(土)		無料	栄華支部 090-4982-7889(ベン 順玉)
八幡西区年長者作品展 洋画・日本画・彫刻・工芸ほか200点	19(木)~23(月・祝)		無料	北九州市八幡西区社会福祉協議会
時と風の博物館展 写真70~100点	26(木)~29(日) ※26(木)は12:30から		無料	北九州市総務企画局企画課

北九州市立美術館本館

●住所/戸畑区西鶴ヶ谷町21-1 ●電話/093-882-7777 ●休館日/月曜日(祝日・休日の場合は開館し翌日休館)、年末年始(12/29~1/3)
●アクセス/バス:「美術館口」徒歩10分、「七条」[美術館口]より無料シャトルバス運行 ●開館時間/9:30~17:30(入館は閉館30分前まで) ●駐車場/180台

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
コレクション 展示室1~3	コレクション展Ⅱ ピカソ、マティス、ルオー~巨匠たちの版画(後期) 海外作家の版画を中心に約180点	~9/8(日)		一般 ¥150 高大生 ¥100 小中生 ¥50	北九州市立美術館 093-882-7777
	コレクション展Ⅲ ~この素晴らしき彫刻の世界	9/14(土)~ 1/13(月・祝)		一般 ¥150 高大生 ¥100 小中生 ¥50	北九州市立美術館 093-882-7777
企画展示室 1~2	レオナルド・フジタとパリ 1913-1931 藤田嗣治(レオナルド・フジタ)とその時代の作品 約140点	8/31(土)~ 10/20(日)		一般 ¥1,200 高大生 ¥800 小中生 ¥600	北九州市立美術館 093-882-7777
B1F 講堂	(フジタとパリ展関連イベント) 学芸員によるスライド・トーク 本館学芸員によるスライド・トーク	15(日)	14:00~ 15:00	無料	北九州市立美術館 093-882-7777
市民ギャラリー	高文連北九州地区高等学校美術工芸展 洋画・彫刻・工芸ほか180点	8/27(火)~9/1(日)		無料	福岡県高文連美術工芸部門北九州支部 福岡ひびき高等学校 093-881-2355(永田)
	第28回日本の海洋画展 海をテーマにした絵画展	10(火)~16(月・祝)		無料	全日本海員福祉センター 03-3475-5391(飯田)

ジャンルごとに色分けして表記しています。

演劇・舞踊 音楽 美術・展示 etc. 映像・その他催し

※催しは内容など変更になる場合がございますので
必ず各問合せ先又は各施設にお問い合わせ下さい。

北九州市立美術館本館



●住所/戸畑区西鞘ヶ谷町21-1 ●電話/093-882-7777 ●休館日/月曜日(祝日・休日の場合は開館し翌日休館)、年末年始(12/29~1/3)
●アクセス/バス:「美術館口」徒歩10分、「七条」[美術館口]より無料シャトルバス運行 ●開館時間/9:30~17:30(入館は開館30分前まで) ●駐車場/180台

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
市民ギャラリー	公募第14回全国水墨研究会合同展 水墨画 約300点	18(水)~23(月・祝)		無料	全国水墨研究会 093-971-0220(岡村)
	白亜会九州支部展 洋画 60点	25(水)~29(日)		無料	白亜会 093-581-3366(木本)

戸畑市民会館(ウェルとばた内)



●住所/戸畑区汐井町1-6 ●電話/093-871-7200 ●開館時間/9:00~22:00
●アクセス/JR:「戸畑駅」徒歩1分 バス:「戸畑駅」徒歩1分 ●休館日/年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	ナニフラスタジオ福岡 第4回発表会	7(土)	12:30	¥2,000 (当日¥500増)	ナニフラスタジオ福岡 093-951-1264(溝尻)
	チアリーディング北九州 DOLPHINS&チアダンス北九州 MICKEY公演会	15(日)	14:00	¥1,000	福岡文化振興協会 090-5287-8254(後藤)
	九州朝鮮中高級学校 吹奏楽部 31回演奏会	16(月・祝)	17:00	無料	九州朝鮮中高級学校吹奏楽部 093-691-4431(徐)
	水谷川優子チェロ・リサイタル サン・サーンス:白鳥、グリーグ:ペール・ギュント組曲	18(水)	19:00	指定席(1階)¥4,500 自由席(2階)¥3,800 自由席(2階)高校生以下 ¥1,000	北九州労音 093-571-0227(松前)
	吉田兄弟 三味線だけの世界	21(土)	16:00	全チケット完売	(公財)北九州市芸術文化振興財団 音楽事業課 093-562-3611
	第38回 秋季芸術祭 箏・三絃・尺八による三曲演奏会	23(月・祝)	11:00	¥1,000	北九州三曲協会 093-651-8579(塚本)
	第10回 北九州市立大谷中学校吹奏楽部 定期演奏会	28(土)	16:00	無料	北九州市教育委員会 093-881-5767(大谷中・皿本)
	八橋邦楽会設立30周年記念演奏会	29(日)	13:00	¥2,500 (当日¥500増)	八橋邦楽会 093-561-1146(櫻井)
中ホール	ヴァイオリン・チェロソロコンサート	8(日)	13:05	無料	篠崎ヴァイオリンスクール 093-921-0459(吉田)
	第5回3つの音色で奏でる 木村りえ・木村りさピアノコンサート	12(木)	19:00	一般 ¥2,000 学生 ¥1,000 (当日¥500増)	Rie-Risa企画 090-3733-6095(木村)
	オペラ アリアの夕べ	14(土)	18:00	¥1,000	ラ・ディーヴァの会 090-9584-8655(井上)
	第3回 東日本大震災復興支援 チャリティーコンサート	15(日)	13:00	一般 ¥1,000 高校生以下 ¥500	チャリティーコンサート実行委員会 093-671-2586(中下)
	リトル・コンサート	16(月・祝)	13:30	無料	ジュニア・アンサンブル 093-962-5320(松本)
	10周年記念 ヴァイオリン・チェロコンサート ゲスト:長島洋太(Vn)、山中恵里子(Vn)	23(月・祝)	13:00	無料	スズキ・メソード北九州 093-952-2372(小川)
	森山仁美 フルトリサイタル デュエティユー:ソナチネ、吉松隆:デジタルバード組曲 ほか	27(金)	19:00	一般 ¥2,000 学生 ¥1,000 (当日¥500増)	北九州楽友協会 093-622-1900(福島)
平成25年度 戸畑区文化祭 琵琶で巡る歴史物語	28(土)	13:00	無料	戸畑区文化団体連合会 080-6445-2258(佐々木)	
交流プラザ	ウェルカムコンサート ヴァイオリン・ピアノの演奏。出演:藤松敦仁、上村貴子	12(木)	12:20	無料	ウェルとばた総合案内 093-871-7200

戸畑生涯学習センター



●住所/戸畑区中本町7-20 ●電話/093-882-4281 ●開館時間/9:00~22:00
●アクセス/JR:「戸畑駅」徒歩3分 バス:「浅生市場前」徒歩1分 ●休館日/毎週月曜日(月曜祝日振替休日の場合は開館し翌日休館)年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
市民ギャラリー	第1回 浅生水彩画クラブ作品展 生徒24名による作品展	4(水)~8(日) 10:00~18:00 ※8(日)は15:00まで		無料	甲山由利子 093-661-1767
	平成25年度戸畑区学童理科展 戸畑区の小学生の夏休みの理科作品の展示	14(土) 9:00~17:00		無料	北九州市立あやめが丘小学校 093-881-3003
	第37回戸畑区年長者作品展 手工芸品/絵/写真/習字など300点	19(木)~26(木) 9:00~17:00 ※19(木)は13:00から		無料	戸畑区社会福祉協議会 093-871-3259(泉)

ジャンルごとに色分けして表記しています。

演劇・舞踊 音楽 美術・展示 etc. 映像・その他催し

※催しは内容など変更になる場合がございますので必ず各問合せ先又は各施設にお問い合わせ下さい。

CulCulの主な設置場所

市内JR駅、市民会館、市民センター、生涯学習センター、図書館、市内体育施設、北九州空港、男女共同参画センター・ムーブ、井筒屋、モノレール駅、レインボープラザ、北九州芸術劇場プレイガイド・インフォメーションなど

北九州市芸術文化情報誌「CulCul」・「かるかる」

■発行日/2013.9.1 ■発行/北九州市、(公財)北九州市芸術文化振興財団 出版事業課
〒805-0019 北九州市八幡東区中央二丁目1-1-7F TEL:093-662-3012 FAX:093-662-3016

情報コーナー

北九州芸術劇場

「ヴェニス商人」

10月5日(土)～6日(日)午後12時30分開演と同6時開演(6日は12時30分開演のみ)。※各日各公演とも開場時間は、開演時間の30分前。北九州芸術劇場大ホール(小倉北区室町ノリバーウォーク北九州6F)。彩の国シエクスピア・シリーズ第28弾。演出は蛭川幸雄、出演は市川猿之助ほか。全席指定。入場料、S席9000円、A席6000円、B席4000円(当日各500円増)。

北九州芸術劇場 093(562)2655

戸畑区役所

「旧松本家住宅 森の館オールディーズコンサート」

10月6日(日)午後2時30分開演、同3時開演、旧松本家住宅(戸畑区二枝)。アメリカンポップス(オールディーズ)を中心としたコンサート。入場料、無料。要事前申し込み、定員80名、応募者多数の場合は抽選。申込期間、9月23日(月・祝)必着。駐車場なし。

戸畑区役所総務企画課「コンサート」係 093(871)1501

北九州国際音楽祭実行委員会「オープニング プレミアムガラ・コンサート」

10月6日(日)午後2時開演、

同3時開演(3時間公演)、北九州市立響ホール(八幡東区平野)。北九州市民文化賞・奨励賞受賞者6名と、この日限りの「北九州祝祭弦楽合奏団」が共演。ビバルディ「四季」ほか。

全席指定。入場料、S席6000円、A席4000円、U-25(A席)2000円。北九州国際音楽祭実行委員会事務局 093(663)6567



邪魔にならないくらいのプライドをきちんと持っている。非の打ち所の無い人とは、こういう人と言うのかな。全くかなわない。

私には15年来の親友が一人いる。知り合ってから今まで、彼女の口から「出来ない」という言葉は聞いた事が無い。実際、何でも出来る。字も絵も上手いし、文章書かせたらまさにプロ。頭は良いし、優しく、人から好かれ、気遣いも出来て、バイタリティーはあるし。なのに、謙虚で気が負がなく、それでいて、

親友の書いてくれたプロフィール

その彼女に、私の演奏会用プロフィールを書いてもらった。

驚くべき名文である。そこには、よくあるコンクール歴等は一つもなく、私の人となりになり美化されて書かれているものの、その表現力、構成力、推進力、リズム感、感受性は、超がつく程だ。読んだ人は、私に

対して自然と興味をかき立てられ、ワクワクし、これから始まる演奏に、前のめりで没入していける。つまり、読み始めた瞬間からまさに序奏が始まっているわけだ。私は私で、それを読んで奮起し、気を引き締め、舞

台へ歩み出てピアノに向かう。読み手にこれほど能動的に働きかける文章で、プロフィールを書ける人が他にいるだろうか。彼女の愛情は、海よりも深く、空よりも広い。私は本当に良い友を持ったなあ。

お知らせ

北九州芸術劇場は今年、開館10年目を迎えました。これからもお客様に安全かつ安心してご利用いただくため、大規模な修繕工事を検討しています。予定工事期間は、2014年12月1日～15年1月31日頃。この間、北九州芸術劇場は閉館となる予定です。工事の実施および期間については、正式に決定いたしましたら、当劇場ホームページ、各種媒体にてご案内させていただきます。ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

北九州芸術劇場 施設利用係 093(562)8436

CulCul(かるかる)

郵送のご案内

郵送先の郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記の上、ご希望回数分の切手を添えてお送り下さい。

A. 三つ折り定型郵便物での郵送 一回90円

B. 定型外郵便物での郵送(折りなし) 一回 140円

10月号から平成26年3月号までの6回を上限とします。AかBいずれかと回数をお知らせ下さい。切手到着後の郵送となります。

〒805-0019 八幡東区中央二丁目1の1レインボープラザ7F CulCul郵送係まで

「CulCul」を電子ブックでも閲覧することができます

パソコン版

(公財)北九州芸術文化振興財団のホームページからご覧になれます ▶ **北九州文化** 検索 URL: <http://www.kicpac.org/> ※TOPページ左メニューの出版事業からCulCulを閲覧できます

スマートフォン・タブレット版

無料の電子ブック閲覧アプリ「ActiBook」でご覧になれます

- ①「App Store」または「Playストア」からアプリをインストール
- ②「ActiBook」アプリを立ち上げて「検索」メニューから「culcul」で検索



「かるかる」をPDFでも閲覧することができます

ホームページからご覧になれます ▶ **かるかる** 検索 URL: <http://www.kicpac.org/culcul/index.html>

↑
二次元コードからでも
ご覧になれます。

※催しは内容など変更になる場合がございますので必ず各問合せ先又は各施設にお問い合わせ下さい。



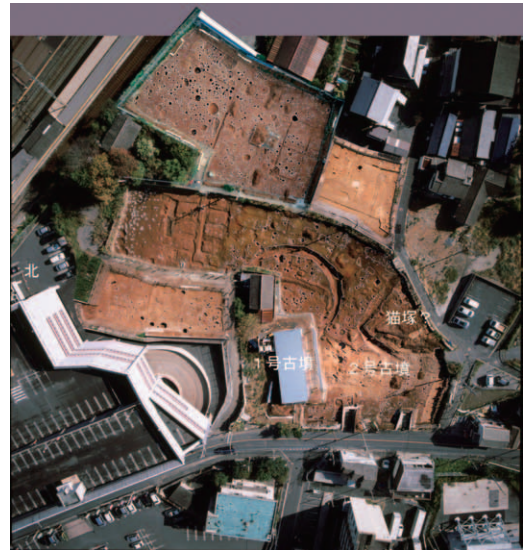
埋蔵文化財

hiroba

遺跡からのメッセージ

(公財)北九州市芸術文化振興財団
埋蔵文化財調査室 学芸員

梅崎 恵司 Keiji Umezaki



城野遺跡全景

猫塚と三塚



昭和24年の発掘の様子（小倉高校考古学部）

この二つの名称は、小倉高等学校考古学部の部誌『まがたま』（昭和25年12月30日発行）の『21年度市内遺跡調査中間報告』に報告されています。その中の19、20にまとめられていたので、ここに全文を示します。

19、猫塚

小倉市中城野（小川氏宅）日豊線城野駅より徒歩にて約十分北方刑務所の横の空地に位置する。これは竪穴式石棺であり石棺内には遺物なくただ封土中より土錘石斧石庖丁の破片一片づつ拾得した。他に付近一帯より弥生式土器特に遠賀川式が目立って多く須恵器は極く破片しか散布していなかった。昭和

24年夏休み、我々部員の手によって学校に持ち帰り本館前に組み合わせている。

20、三塚

小倉市中城野（小川氏宅）猫塚より二十米離れている小川氏宅の庭園内に直径四米位の三つの小山がある。これは未だ調査されていないがこれも猫塚と同じく竪穴式石棺と考えられている。附近一体には遠賀川式須恵器土師器が散布している。

文中の「小川氏」はもう亡くならぬ、家族は福岡に転居したそうです。そう教えてくれた付近住民は城野駅付近のことを「小高い丘で家はなく野っばらだった」と言っていました。地主から、古墳があるので何とかしたいという希望に応えたのは、考古学部でした。この時にお茶を差し入れた方が付近におられました。この方が猫塚の発掘のことを覚えていたのです。現在、発掘された「猫塚」の石棺は、小倉高校に移設されています。その大きさは、内法で長さ1・85m、幅0・63m、深さ0・7mです。この時、盛土から弥生土器や古墳時代の焼き物である須恵器片が出土しています。

平成24（2012）年に、城野駅南側の工事のため発掘調査

され、そこで発掘されたのは外周を巡っていた堀でした。この堀は直線、つまり上から見ると四角の方墳だったのです。堀から出土したのは、やはり弥生後期土器と数点の須恵器片でした。年代は、4世紀代と考えられます。

さて、「三塚」ですが、猫塚の他に三つの小山があると書かれています。つまり、当時4つ塚があったとしているのです。城野駅南側の調査は平成23年度から行い、25年度も行っていきます。現在、古墳は2基が発見されています。猫塚の可能性が高い2号方墳と1号円墳です。

1号円墳は24年度に3分の2を掘り、25年度はその西側を掘っています。そこで堀が円にならないことがわかってきたのです。堀は、くの字に開いたようになり、上から見ると「カギ穴形」になっているようです。2つの古墳は、堀しか残っていません。しかし、1号は直径27m、2号は1辺18m程です。いずれも主軸が紫川流域を向いています。したがって、この流域の首長層の古墳であったことが明らかになってきているのです。調査が終わるのは秋になりますので、お楽しみに！

【このコーナーの次回掲載予定は11月号です】



©北条司/NSP 2010 ©武村勇治・原哲夫・堀江信彦/NSP 2010
 ©橋本エイジ・梅村真也/NSP 2010 ©吉原基貴・原哲夫/NSP 2010

漫画 hiroba

漫画と北九州
 北九州市漫画ミュージアム 学芸員
 郷田和代 Kazuyo Goda

北条司&コミックゼノン展 ～魅力あるコミックゼノン作品～

現在開催中の企画展「北条司
 &コミックゼノン展」。

今回は、『月刊コミックゼノン』についてご紹介します。編集元の「株式会社コアミックス」は、編集者、漫画家、声優が集まり、設立した会社ということに前号で紹介しましたが、それにちなんだ取り組みも行われています。本誌では、お笑い芸人やアイドルとのコラボ、また、絵だけで物語を表現する新人漫画家の募集なども行われています。また、本社のある吉祥寺をはじめとして、漫画にちなんだカフェやバーの経営もしており、多くの世代の人たちが訪れる憩いの場となっています。

『月刊コミックゼノン』には、男女問わず愛される作品が掲載され、ドラマやアニメ化もされ、人気を集めています。高瀬志帆の『おとりよせ王子』は、全国各地から美味しいものをおとりよせして、それを心から楽しんでる26歳の男性が主人公。九州各地の食材も取り上げられ、それを味わう姿を見ると、思わずおとりよせしたくなります。また、アニメ化された作品として、『北斗の拳』の平行ワールドとして描かれた『DD 北斗の拳』が挙げられます。こちらの作品は、『北斗の拳』の登場人物たちが登場する何気ない毎日の中で巻き起こす、笑いを誘う作品となっています。コミカルなタッチの作品でありながら、随所に原作『北斗の拳』の絵柄が登場し、より一層面白さを引き立ててくれます。

また、原哲夫と「株式会社コアミックス」の社長、堀江信彦の原作『義風堂々!!直江兼統』は、少年の心で、時には常識を逸脱したような姿で、突き進んでいく傾奇者^{かぶきもの}を描いた作品として、人気を集めています。栗原類さんが、ゼノンコミックス『花の慶次』『義風堂々!!』のCMキャラクターを努め、話題になりました。ドラマやアニメ化された作品は、どれも九州での放送はまだ行われていませんが(インターネットでの放送を除く)、今後こちらでの放送にも期待したいところです。今回の展示では、こうした作品をはじめとして、『月刊コミックゼ

ノン』に連載中の数々の作品の原画を紹介しています。手書きの作品もあれば、デジタルで描かれたものもあり、また作品のジャンルも雰囲気も多岐に渡る雑誌の魅力を、展示で紹介しています。展示を見て楽しみ、本誌を読んでいただき、好きな作品を見つけてもらう、そんなきっかけとなる展覧会となればと思っています。



©佐原ミズ/NSP 2011 ©高瀬志帆/NSP 2010 ©保谷伸/NSP 2012 ©日暮キノコ/NSP 2012

Information

『月刊コミックゼノン』座談会&出張編集部
 【開催日】2013年8月25日(日)
 午後1時～午後1時45分 座談会
 午後2時～午後4時 出張編集部
 現役の編集者の方にお越しいただいて、マンガ作品を見てもらう「出張編集部」を開催。編集部を囲んでの座談会も開催予定です。(こども文化/パスポート適用あり)
 【お問合せ】
 北九州市漫画ミュージアム
 093(512)5077

※平行ワールドは並行世界。並行宇宙。

美術 hiroba

北九州アートめぐり

キュレーター

花田 伸 — Shinichi Hanada

「フローとしての美術館」

本誌7月号で北九州市立美術館黒崎市民ギャラリーを紹介した折、市民ギャラリーや貸画廊などのレンタルスペースのシステム、そしてその主な利用者である団体展・公募展というシステムは日本独特の歴史があると書きました。本号はその続きです。

日本で最初に「美術館」の名を冠する施設として開館した上野の東京府美術館は1926年に若松の「石炭の神様」佐藤慶太郎の寄付により建てられたことは以前書きました(『ひろば九州』2009年4月号)。同館は1943年に東京都美術館と改名し、長らく公募団体展の主な発表場所として利用されていきます。近年は団体展増加に対応するべく新たな展示スペースを確保する必要から、2007年に国立新美術館が六本木に開館しました。

さて、佐藤慶太郎が美術館の建設資金の寄付を決めたのは上京時に偶然読んだ新聞記事がきっかけでした。当時まだ日本に美術作品を展示するための専門施設が無かったことを美術家たちが憂えて建設運動をしていたものの国の予算不足から難航しているという記事でした。その後、佐藤の寄付によって国内初の美術館建設は実現されました。ただ、このように運良く寄

付者が現れるかどうかは別として、現在、国内の各市町村に建てられている公立美術館の多くが、もともとは地元の美術家たちの間で美術館建設を求める要望が起こり、市民の合意を形成しながら自治体へ働きかけ開館に漕ぎつけるという経緯を辿っています。

ここで一つ書き加えるならば、多くの場合、開館に向けての要望で思い描かれる美術館とは、正確には展示スペース(ギャラリーあるいはアートセンター)であり、厳密な意味での美術館(ミュージアム)ではないように見受けられることです。

本来、美術館(ミュージアム)とは博物館の一つであり、その活動の核は歴史的に意義ある美術作品の蓄積と保存継承、つまり歴史を保存するためのアーカイブ施設であるのですが、国内で美術館に持たれているイメージとしては、まずは催事場というイメージが強いようです。つまり日本で美術館に期待される機能の多くはストックではなくフローなのです。

美術という概念も、美術館という概念も、明治以降の近代化に沿ってヨーロッパから輸入された概念ですが、西洋では美術にしろ美術館にしろ、それは歴史を蓄積していく営み、つまりストックの場であるという前提

が共有されています。しかし日本ではその前提までは輸入できていないか、あるいはその前提の受け入れを無意識的に避けているのかもしれない。

いずれにしろ、このストックとフローへの意識の違いが西洋と日本の美術状況の差を生んでいるとするならば、その違いをふまえて日本の美術状況は遅れを取っていると嘆くこともでき、これぞ日本の社会環境に見

合った美術状況なのだといってその可能性を積極的に模索することもできるでしょう。

しかしながら現実には今のところ、どの美術団体も世代交代の難しさや組織の形骸化など多くの課題を抱え、本来フローであるべきものもデッドストックになりかねません。

そのような状況でフローとしての美術館を思い描くことは可能でしょうか。



東京都美術館(前身は東京府美術館) 現在も多くの団体展・公募展が利用する。



松本清張 1987年フランスにて



文芸 hiroba

清張アラカルト

北九州市立松本清張記念館 専門学芸員
柳原 暁子 Akiko Yanagihara

清張が警句として描いた近未来

皆さんは、清張作品にSFがあるのをご存知でしょうか。『神と野獣の日』という小説です。本が絶版になって、長らく読むことのできない作品でしたが、2008年に、小説家・東野圭吾の推薦によって、角川文庫から復刊しました。オビには「僕の最大の掘り出しモノです。」とあります。

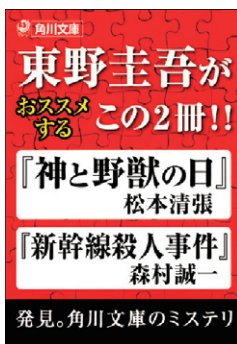
この小説が連載されたのは1963（昭和38）年。ある日、首相官邸に防衛省から直通電話が掛かります。在日米空軍司令部からの緊急連絡で、東京に向かって誤射された核弾頭ミサイルが飛んで来るといふもの。それも5基で、迎撃部隊を動員しても全てを落とすことはできないため、都心の壊滅は避けられません。首相は、苦渋の決断の末、この絶望的な事実を発表し、国民に知らせます。



松本清張『神と野獣の日』
(2008年 角川書店)

核戦争とその後の世界というのは、ネビル・シュートの『渚にて』（1957年/日本での翻訳出版は翌年、翌々年には映画化された）が、その嚆矢のようです。終末ものは、今やハリウッド映画の定番ですが、驚いたことに、スタンリー・キューブリック監督の、核戦争を題材とした映画『博士の異常な愛情』公開よりも、『神と野獣の日』の連載が一年早いのです。時代は東西冷戦の真っ只中でした。「キューバ危機」が起こったのは、前年の1962年。日本では、『鉄腕アトム』のテレビ放映が始まった年でした。原子力が、様々な形で、私たちの身近なものとなりつつありました。ちなみに、小説が連載されたのが、週刊『女性自身』だったというところも意外です（そのせいか、若い男女のロマンス

場面もあります）。さて、小説の内容に戻ります。あと一時間ちよっとで、東京はおしまいなのですから、人々はパニックです。皆、家族のもとへ帰ろうと、目の前のことを放り出して帰宅を始めます。そのため、道に人や車が溢れ、交通が混乱します。首相が報道に踏み切ったのも、「死の瞬間を家族といっしょに迎えさせたい」という気持ちからでした。しかし、帰宅は容易ではありません。作中、ある男が「おれは、こんな所で死にたくない。死ぬなら、女房と子供を抱いて死にたい。こんな、おれとは縁もゆかりもない他人と心中するのはごめんだ」と絶叫します。



東野圭吾の推薦により復刊した

11年3月11日の東京は、小説で描かれたよりも整然としていて、都民の行動は世界から賞賛されたほどでした。

冷戦は1989年に終結を宣言しましたが、冷戦時代に核戦争を回避したにもかかわらず、日本は原発事故で、三度めの被曝を経験してしまいました。

清張が『神と野獣の日』で描いた極限状態は、最後の結末で、私たちに、ある問いを突きつけます。

SFの宿命で、当時描かれた近未来は、すでに時代が追い越してしまいました。しかし、作品の警句は、今でも生きている気がしてなりません。

※ 東京都では、2013年4月、東京都帰宅困難者対策条例が施行されました。災害時の帰宅行動の抑制を推進したもので、小説での帰宅を促す状況とは、異なるようです。

これは、清張の戦争体験が反映された作品にも、描かれたモチーフです。『厭戦』という作品では、徴兵され、朝鮮に渡った（私）に、「死ぬのならやっぱり畳の上だ。妻子にみとられて死ぬのが人間の最後の最上の幸福だ。その他の場所では死にたくない。まして戦場で死ぬのはいやだ」と語られます。

清張は、『神と野獣の日』で仮想した、核ミサイル着弾という極限状態を、かつての戦争体験と重ねています。現代の私たちにとって、それに匹敵する体験は、東日本大震災になるのでしょうか。そう考えると、20

Information

北九州市立松本清張記念館
北九州市小倉北区城内2の3
093(582)2761

【観覧料】

一般 500円 (団体・年長者利用証:400円)
中・高生 300円 (団体:240円)
小学生 200円 (団体:160円)

【開館時間】

午前9時30分～午後6時(入館は午後5時30分まで)

【休館日】

年末(12月29日～12月31日)



演劇の街は、いま

大塚恵美子演劇事務所 代表

おおつか えみこ Emiko Otsuka

「守りに入らない」老舗劇団2団体の9月公演を紹介

シアター)だ。

この「大猫座」は、私が1991年から22年間座長をつとめてきた「劇団夢の工場」解散後に立ち上げた劇団だ。以下、手前味噌にならないよう配慮しつつ紹介させていただく。

「大猫座」劇団員は私一人。毎回、上演作品にもっとも適した座組みで、劇団の枠、アートのジャンルの枠を超えて作品創りをしようともくろんでいる。数回のリーディング公演を経て、今回が第一回公演となる。

ただ、私が長らく北九州で演劇をやり、ドラマテーターチャーとして日本各地で老若男女と触れ合ってきたノウハウを生かした劇団という点で、「老舗」枠入りだろう。

今回の公演では、「劇団黄色い自転車」や「響座」「青春座」などで活躍中の役者さんを、期間限定劇団員として迎える。更に、山口県在住のピアニスト山根浩志、原田耕平、声楽家モチエオ久美にも楽曲提供やボイスアドバイザーで参加してもらって「歌譚」という、音と歌と台詞で物語を編みこんでいく演出を試みた。こういった、メンバー固定の劇団ではできない試みを少しでも長く続けていければと思っている。

劇団を解散してみても感じたのだが、劇団を長くやっている、手慣れて楽にこなせる部分も多くなるが、反面、手慣れ故の油断で「はっ」とする部分も出てくる。

常に、新しく。若者には負けてはいられない。

C4はユニークな試みをしている。小倉北区京町にあるカフェ・ド・ファンファンにて、一作目から二作目をつなぐ作品『三日月探偵社CASE1・5以上2未満』を4月から7月にかけて、4ヶ月連続でリーディング上演したのだ。4月が「1・6」5月が「1・7」という風に、だんだん「CASE・2」へ近づいていくという手法。込み入った舞台装置や音響などに頼らず上演でき、また、戯曲の内容をストレートに届けられるリーディングの特性を上手く利用した面白い作品展開だと思ふ。

もう一つは八幡東区で。大猫座「歌譚 坂の上の家」(作・演出・大塚恵美子)9月14日・15日/枝光本町商店街アイアン

今、北九州では、若い劇団が非常に元氣だ。先月号で紹介した「守祭」もそうだし、6月には「ブルーエゴナク」が新作『サヴァリーナトロメイド』(作・演出・穴迫信一)をひっさげて、北九州―福岡―熊本とツアー公演を行うなど、積極的な動きが目立つ。

では、老舗劇団の方はどうかというと、こちらも、守りに入らない姿勢で公演活動を行っている。

9月には、老舗、2団体が、奇しくも同じ週末に公演を行う。

一つは若松。劇団C4『三日月探偵社CASE・2』月は見ていた〜(作・演出・大塚恵美子)9月14日・16日/旧古河鋳業若松ビル)だ。

この『月は見ていた〜』は、2012年5月に『三日月探偵社〜月夜の忘れ物〜』で始まった劇団C4の得意とする「シリーズもの」の第二弾。旧古河鋳業若松ビルの多目的ホールの雰囲気を手く使った「とある探偵社の一室」で起こる事件を扱った物語。

本作上演にあたって、劇団



劇団C4『三日月探偵社 CASE.2 月は見ていた〜』チラシ



大猫座『歌譚 坂の上の家』チラシ

かるかる CulCul

Culture&Cultivate

2013
September

9

Vol.5

心と体を弾ませて。

特集

北九州芸術劇場

演劇 | 演劇の街は、いま

文芸 | 清張アラカルト

美術 | 北九州アートめぐり

漫画 | 漫画と北九州

埋蔵文化財 | 遺跡からのメッセージ

音楽 | いろはにぴあの